

平成28年度(2016年度)

管理事業名	環境政策事業			総合計画の 体系	第5章 第1節	環境を守り育てるまちづくり 環境負荷の少ないまちづくりほか	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 12	環境保全費
部局名	環境部	予算執行所属	環境政策室				
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
一般事務事業 環境政策事業 環境啓発保全事業							
事業の目的と概要 環境政策事業は、市民、事業者、行政が協働し健全で豊かな環境を守り引継ぎ、持続可能な社会を実現するための事業です。 主な事業内容は次のとおりです。 ・環境影響評価事務事業・・・一定規模以上の開発事業について、環境まちづくり影響評価条例に基づき環境影響評価の手続きを実施する事業です。 ・環境マネジメントシステム運用事業・・・市の事務事業における温室効果ガスの排出を抑制するため、市独自の環境マネジメントシステムを運用する事業です。 ・環境審議会運営事業・・・市長の諮問に応じて調査審議する、環境審議会を運営するための事業です。 ・すいた環境サポーター養成講座運営事業・・・地域や家庭、職場等において、環境教育の担い手として活躍する人材を育成するための事業です。 ・アジェンダ21すいた推進事業・・・持続可能な社会の実現に向けて、市民・事業者・行政の協働による「アジェンダ21すいた」の取組を推進する事業です。 ・地球温暖化対策新実行計画管理運用事業・・・同計画に基づき、市民や事業者に対する地球温暖化問題の啓発等を行う事業です。 ・森林保全事業・・・病害虫による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の保全整備を行う事業です。 ・環境啓発事業・・・市民団体等の協働による環境教育、環境保全活動の推進のためにイベント等の開催により啓発を行う事業です。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
環境影響評価審査会開催回数	回	3	1	5	環境影響評価審査会開催回数
すいた環境サポーター養成講座受講者数 (旧:すいたシニア環境大学入学者数)	人	17	28	29	すいた環境サポーター養成講座受講者数 (H26年度の数値は、すいたシニア環境大学入学者数)
アジェンダ21すいた会員数	人	93	83	71	アジェンダ21すいた会員数
本市の事務事業に伴う年間 温室効果ガス排出量	千トン	75	80	80	吹田エコオフィスプランにおいて、進捗管理している市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量
すいた環境教育フェスタ参加者数	人	623	592	728	すいた環境教育フェスタ参加者数 (H26年度は、すいた環境フェアとして開催)
成果説明	・学識経験者からなる環境影響評価審査会において、開発事業者自らが環境への影響について、調査、予測及び評価を行った結果について、科学的な審査等を行うことで本市の環境まちづくりに寄与しています。 ・すいた環境サポーター養成講座を受講した市民が、自らもしくは市内の環境活動団体に参加することで、環境教育や環境保全活動の促進に寄与しています。 ・「アジェンダ21すいた」というパートナーシップ組織により、吹田市域の市民、事業者、行政が協働して、持続可能な社会づくりの促進に寄与しています。 ・吹田市役所エコオフィスプランに基づき、省エネルギー、省資源(特に紙)、廃棄物の削減、グリーン購入の推進に寄与しています。 ・環境審議会は環境基本計画の進捗管理をはじめ、環境の保全と創造に向けた市の様々な施策を審議検討しており、本市の環境行政の根幹の形成に寄与しています。 ・すいた環境教育フェスタにおいて、主に市内の環境活動団体、企業、行政の環境保全活動や持続可能な社会づくりに向けた取組を広く紹介することで、市民の環境意識向上に寄与しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	551	551
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	10	-	△10
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,600	2,652	2,778	126
経常収入 小計(a)	1,600	2,662	3,329	666
給与関係費	94,771	98,146	112,355	14,209
物件費	1,797	7,004	4,169	△2,834
維持補修費	-	9	-	△9
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	920	570	590	20
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,302	7,533	9,826	2,292
退職手当引当金繰入額	4,144	8,425	24,865	16,440
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	108,934	121,687	151,805	30,118
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△107,333	△119,025	△148,476	△29,451
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△107,333	△119,025	△148,476	△29,451
一般財源充当額	111,746	120,602	131,232	10,630
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	4,413	1,577	△17,244	△18,821

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入(その他)	行政財産目的外使用料 2,778千円(126千円の増)
給与関係費	職員人件費、審議会等委員報酬
物件費	すいた環境サポーター養成講座運営委託料 700千円 市内保安林緊急ナラ枯れ対策委託料 1,082千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,600	2,662	3,329	666
行政サービス活動支出	113,347	123,264	134,561	11,297
行政サービス活動収支差額	△111,746	△120,602	△131,232	△10,630
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額合計	△111,746	△120,602	△131,232	△10,630
一般財源充当額	111,746	120,602	131,232	10,630
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)行政財産目的外使用料2,778千円、 森林関係補助金 551千円 (行政サービス活動支出)すいた環境サポーター養成講座運営委託料 700千円、市内保安林緊急ナラ枯れ対策委託料 1,082千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人あたりのコスト	平成26年度	362,899 人	300 円	市民一人あたり411円のコストがかかっています。(平成29年3月31日現在、吹田市人口)主に職員人件費の増加により昨年度よりコストが増加しています。
	平成27年度	367,510 人	331 円	
	平成28年度	369,522 人	411 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,533	9,826	2,292
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,533	9,826	2,292
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	159,069	159,069	-	固定負債	90,522	105,474	14,952
有形固定資産	159,069	159,069	-	地方債	-	-	-
土地	159,069	159,069	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	90,522	105,474	14,952
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	98,055	115,299	17,244
インフラ資産	-	-	-	純資産	61,014	43,770	△17,244
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	159,069	159,069	-
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	159,069	159,069	-				

Ⅲ 財務構造分析

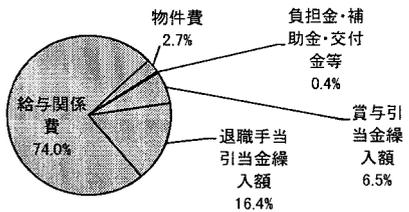
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数		
	15.09 人	0 人	0 日	39 人		147,046
給与関係費等	146,475 千円	0 千円	0 千円	571 千円		
内、時間外勤務手当	4,625 千円					

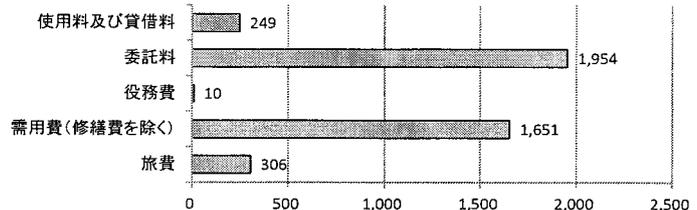
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	旧南工場跡地 159,069千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.6	97.8	97.5	△ 0.3

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が112,355千円(74.0%)、物件費が4,169千円(2.7%)、負担金・補助金・交付金等が590千円(0.4%)です。環境政策事業は、市民や事業者に対する啓発活動や吹田市第2次環境基本計画を推進するための施策及び環境審議会等の運営を主とした事業であるため、事業費のほとんどが職員及び審議会等の報酬に係る給与関係費です。平成27年度と比較し、経常収入が増加した主な理由は、市内保安林のナラ枯れ防止対策に対し大阪府より551千円の森林病虫害等防除事業の補助を受けたことによるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

環境政策事業は、事業に係るコストが一般財源で賄われている職員等の人件費がほとんどですが、地球温暖化問題やヒートアイランド現象などの地球規模の環境問題を解決するためには本市においても市民・事業者・行政がそれぞれの立場で役割を果たすことが重要であり、本事業を推進するための従事職員等の確保は必須です。また本事業は、環境教育やパートナーシップによる環境啓発事業等の推進、市内で開発や建築を行う事業者に対する先進的で質の高い取組への誘導などが主なものであり、費用対効果を即時に数値で表すことは難しい事業ですが、市民が将来にわたって幸せを実感できるような持続可能な社会を構築するための本事業の経費は妥当であると考えます。